

練馬区国民健康保険データヘルス計画第3期（案）について

保健事業の効果的かつ効率的な実施や評価のために各医療保険者が策定する「データヘルス計画」（第3期）と、特定健康診査および特定保健指導の目標値や実施方法を規定する「特定健康診査等実施計画」（第4期）について、令和6～11年度を期間として、一体的に計画策定を行う。

1 計画の概要等

1 データヘルス計画（保健事業の実施計画）

特定健康診査等の結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施および評価を行うことを目的として、各医療保険者が策定する保健事業の実施計画。

2 特定健康診査等実施計画

高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、特定健康診査および特定保健指導の目標値や実施方法を規定する計画。データヘルス計画と一体的に策定することが望ましいとされる。

両計画を「練馬区国民健康保険データヘルス計画」として一体的に計画策定（平成30年度より一体的策定）

3 現状・課題

- (1) 特定健康診査・特定保健指導の実施率が現行計画において目標に達していない。
 特定健康診査の令和4年度実施率 ⇒ 42.5%（第2期目標：50%）【23区中11位】
 特定保健指導の令和4年度実施率 ⇒ 16.4%（第2期目標：25%）【23区中3位】
- (2) 生活習慣病である糖尿病・**高血圧症**・脂質異常症の割合が増加している。
 ※医療費のうち、生活習慣病の割合が約4割を占める。

生活習慣病のうち高血圧症の患者の割合最も多い。

2 データヘルス計画の標準化

1 標準化の概要

- (1) 今回から都道府県単位で計画様式および評価指標の標準化を行う。
- (2) 他保険者との実績を比較可能にし、成果や実施率を上げる方法や、体制の知見を抽出・共有して事業効果の向上を図ることを目的とする。
- (3) 様式、共通評価指標の使用有無は各区判断となる。

2 区の対応

- (1) 標準化で求められる項目等は踏まえつつ、わかりやすさに配慮したレイアウトにするなど工夫を行う。
- (2) これまでの計画との継続性を図り、わかりやすい内容とするため、補足資料を追加する。
- (3) 区の健康課題および取組に適した評価指標を選択し使用する。

3 区民からのご意見

区民意見反映制度により、つぎのとおり素案に対する意見の募集を行った。

1 素案への意見の受付状況

- (1) 意見募集期間
令和5年12月11日から令和6年1月15日まで
- (2) 意見件数
受付件数7件（1名、2団体）

2 寄せられた主な意見

- ・ 特定健康診査の実施率向上のため、SNSの活用など様々な媒体による受診勧奨、特定健康診査とがん検診を同時受診できる環境の充実を望む。
- ・ 国立長寿医療研究センターの「くすりの問診表」を活用し、多罪服用によるフレイル予防の観点でも事業を進めてはどうか。

4 第3期計画の体系

計画全体の目的

健康意識の改革・改善

国保医療費の適正化

QOL（生活の質）の維持・向上

計画全体の目標

特定健康診査・特定保健指導の実施率向上

令和11年度までに**特定健康診査の実施率を50%、特定保健指導の実施率を25%**にする

一人当たり医療費の伸びを抑制

令和11年度の「一人当たり医療費」について、**対4年度比の伸び率を14%増に抑制**する

平均自立期間の延伸

令和11年度の「平均自立期間」について、令和4年度実績からの延伸を目指す

※平均自立期間 = 平均余命 - 日常生活に制限がある期間（介護度（要支援・要介護）から算出）

取組

取組1

特定健康診査・特定保健指導の推進

- 1 特定健康診査
(1) ナッジ理論を活用し、対象(年齢・性別等)に応じた個別勧奨（SNSの活用）
(2) 特定健診とがん検診が同時に受診できる環境づくり
- 2 特定保健指導
ICTを活用し、個別指導の機会を増やす

充実

取組2

生活習慣病の重症化予防

- 1 糖尿病重症化予防（受診勧奨）
- 2 糖尿病重症化予防（個別支援）
- 3 **高血圧リスク者への医療機関受診勧奨**
リスクのある方への受診勧奨・早期治療

新規

取組3

医療の適正な受診支援

- 1 訪問服薬健康相談
対象の拡充・事業効果の向上を図る
- 2 ジェネリック医薬品の利用促進
利用差額通知の対象薬剤範囲を拡大

充実

取組4

健康意識向上に向けた啓発等

- 1 健康情報の発信
(1) 様々な媒体による周知・広報区報・HP・健康アプリ等
(2) 喫煙リスクの周知、携帯電話等で利用できる禁煙支援
- 2 30歳代健診の受診勧奨
健康診査を受診する習慣づくり
- 3 後期高齢者医療制度等や地域包括ケアシステムとの連携
前期高齢者について後期高齢者の支援者との地域課題の共有